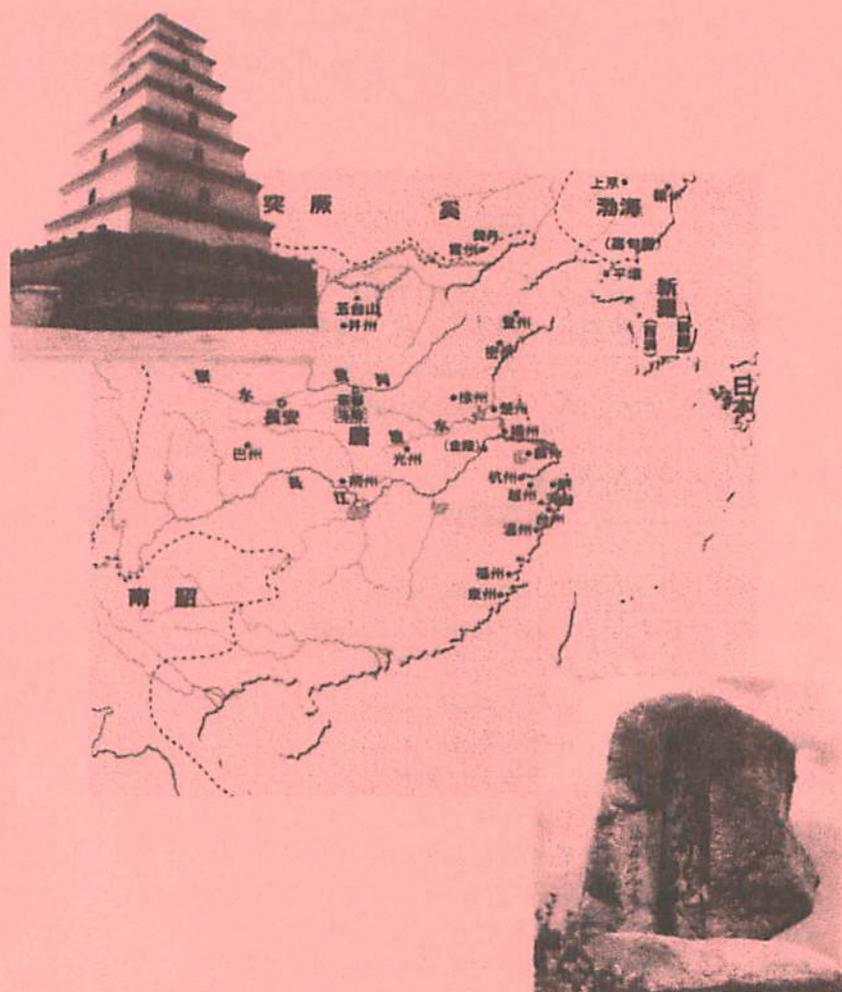


東アジア世界史研究センター 平成22年度 シンポジウム

# モノの移動と 古代東アジア世界

—朝鮮半島と日本列島を中心に—



文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（オープン・リサーチ・センター整備事業）

## 「古代東アジア世界史と留学生」

日時：平成22年11月20日（土）14:00～16:20

21日（日）11:00～16:00

会場：専修大学神田校舎1号館3階301教室

# 東アジア世界史研究センターの研究計画〈概要〉

## 【研究目的】

これまでの東アジア世界を対象とした歴史研究プロジェクトは、壮大なテーマを掲げて取り組んできましたが、本プロジェクトは、追求すべきテーマを絞り込み、古代東アジア世界を流動した人々との対比を視野に入れた上で、東アジアの国々が、様々な文化・文物の流入を期待し、それを直接に担った「留学生」に焦点を絞り、テーマを設定しました。

先進文明国に位置する中国への留学生は、文化・文物を「移植」・「媒介」した存在ではありますが、その果たした歴史的な意義は、十分に明らかにされていません。

本プロジェクトは、本学大学院が発見に大きな役割を果たした「遣唐使井真成墓誌」で培われました中国西北大学大学院との共同研究（その成果の一部は『遣唐使の見た中国と日本』朝日新聞社、2005年、として刊行）を基礎として、1. 隋・唐代の中国を訪れた東アジアからの留学生の全貌を明らかにした上で、2. 古代東アジアの国々への影響を解明するものがあります。これは、文物の「媒介者」の歴史的意義を問う試みであり、グローバル化した現代において見失われがちな「媒介者」の正当な位置づけとその果たしている重要性を確認させる点において、現代的な意義を有する研究といえます。また、研究計画を遂行する中で、日本人に限定しないで、東アジア世界の若手研究者の育成を目的の一つにしていることも、本プロジェクトの特徴となっています。

## 【研究テーマ】

- ① 遣唐使井真成墓誌関係史資料の研究
- ② 日本・中国・朝鮮の「留学生」史・資料についての研究
- ③ 政治・制度・文化・思想の接触と受容からみた東アジア世界の研究
- ④ 物の移動からみた東アジア世界の研究

### ・研究プロジェクトの参加研究者

専修大学		研究課題	参加調査・研究チーム
荒木 敏夫	東アジアにおける政治史	①・③*	
矢野 建一	東アジアにおける留学生の位置	①*・③	
亀井 明德	東アジア世界と中国・日本	③・④	
高久 健二	東アジア世界と中国・日本	③・④	
土生田 純之	東アジア世界と朝鮮・日本	③・④*	
飯尾 秀幸	律令制度と東アジア世界史	②*・③	
内藤 雅雄	東アジア世界と南アジア世界の交流	③・④	
田中 正敬	東アジア世界のなかの朝鮮半島	③・④	
松原 朗	東アジア世界における文化的人的交流	②・③	
土屋 昌明	東アジア世界における文化的人的交流	②・③	
巖 基珠	東アジア世界における文化的人的交流	②・③	

\*は各研究テーマのチームリーダー

### 西北大学（中国）

王 建新	東アジア世界と中国	③・④
王 維坤	東アジア世界と中国	③・④

### リサーチ・アシスタント

伊集院 葉子	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（日本古代史）
窪田 藍	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（日本古代史）
福島 大我	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（中国古代史）

# プログラム

11月20日(土)

趣旨説明

14:00 ~ 14:10

土生田 純之

(東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

講演

14:10 ~ 15:10

山本 孝文 (日本大学准教授)

「出土遺物にみる百済の対外交流」

15:10 ~ 15:20

休憩

15:20 ~ 16:20

宋 義政 (韓国国立金海博物館館長)

「新羅の外来系文物」

通訳: 高久 健二

(東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

11月21日(日)

講演

11:00 ~ 12:00

中野 高行 (東京農業大学第三高等学校教諭)

「推古朝と帝国性」

12:00 ~ 13:00

休憩

13:00 ~ 14:00

亀田 修一 (岡山理科大学教授)

「考古学からみた日本列島と朝鮮半島の交流  
— 4 ~ 7世紀の西日本地域を中心に —」

14:00 ~ 14:20

休憩

14:20 ~ 16:00

討論

司会・進行

土生田 純之 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

高久 健二 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

## ■ 講師紹介

### ■ 山本 孝文（やまもと たかふみ） 日本大学文理学部准教授

釜山大学校大学院考古学科博士課程修了

【主要著書・論文】『三国時代律令の考古学的研究』（書景文化社、2006年） 『ユーラシアの風 新羅へ』（山川出版社、2009年） 「百済泗泚期石室墳の階層性と政治制度」（『韓国考古学報』47、韓国考古学会、2002年） 「新羅古墳出土土俑の服飾と官位制」（『朝鮮学報』204、朝鮮学会、2007年） 「7世紀における土器様式の転換と東アジア」（『史叢』81、日本大学史学会、2009年）

### ■ 宋 義政（ソン ウィジョン） 韓国・国立金海博物館館長

ソウル大学校考古美術史学科博士課程修了

【主要著書・論文】「新羅の土偶」（『東アジアと日本の考古学Ⅱ、墓制②』同成社、2002年） 「支石墓」（『石の美学』、韓国国内出版） 「古墳文化」（『博物館外の文化遺産』、韓国国内出版）

### ■ 中野 高行（なかの たかゆき） 東京農業大学第三高等学校教諭

慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程単位取得中退

【主要著書・論文】『日本古代の外交制度史』（岩田書院、2008年） 「《日本書紀》에 있어서의「任那日本府」像」（『新羅史学報』10、2007年） 「天智朝の帝国性」（『日本歴史』747、2010年）

### ■ 亀田 修一（かめだ しゅういち） 岡山理科大学総合情報学部教授

九州大学大学院文学研究科修士課程修了

【主要著書・論文】『日韓古代瓦の研究』（吉川弘文館、2006年） 『吉備の古代寺院』（共著、吉備人出版、2006年） 『考古資料大観 第3巻 弥生・古墳時代 土器Ⅲ』（編著、小学館、2003年） 「百済古瓦考」（『百済研究』12、大韓民国忠南大学校百済研究所、1981年） 「考古学から見た渡来人」（『古文化談叢』30（中）、1993年）

## ■ 司会・進行紹介

### ■ 土生田 純之（はぶた よしゆき） 専修大学文学部教授

関西大学大学院文学研究科修士課程修了

【主要著書・論文】『日本横穴式石室の系譜』（学生社、1991年） 『黄泉国の成立』（学生社、1998年） 『古墳時代の政治と社会』（吉川弘文館、2006年） 『古墳学入門』（編著、学生社、2003年） 『古墳時代の実像』（編著、学生社、2008年） 『文化遺産と現代』（編著、同成社、2009年） 『東日本の無袖横穴式石室』（編著、雄山閣、2010年）

### ■ 高久 健二（たかく けんじ） 専修大学文学部教授

韓国・東亜大学校大学院史学科博士課程修了

【主要著書・論文】『楽浪古墳文化研究』（学研文化社、1995年） 「韓国の倭系遺物」（『国立歴史民俗博物館研究報告』110、2004年） 「楽浪・帯方郡埴室墓の再検討」（『国立歴史民俗博物館研究報告』151、2009年）

## 東アジア世界史研究センター

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

TEL/044-911-1283 FAX/044-911-1348

E-mail: east-asia@isc.senshu-u.ac.jp

主催：専修大学社会知性開発研究センター／東アジア世界史研究センター